

## 令和2年度事業計画

我が国では、人口減少、少子高齢化が進行していますが、人口の東京圏一極集中は是正されず、地方の人口減少が一層進み、地方の活性化がきわめて切実な問題となっています。

一方、雇用情勢においては、非製造業を中心に企業の雇用人員の不足感が強い状況にあります。

こうした中、政府は、「全世代型社会保障検討会議中間報告」で、急速に進む少子高齢化の下、元気で意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を持っている高齢者が働くことができる環境を整備し、生涯現役で活躍できる社会を創ることの重要性を指摘しています。

また、労働政策審議会は、法的整備の必要性、シルバー人材センターなどの地域の関係者による多様な就業機会の確保・提供等について、より一層取り組む必要があると厚生労働大臣に建議しています。

シルバー事業に関連した国の政策は、いま大きな変動期を迎えています。政府が進める政策の動向を的確に捉えてシルバー事業の運営方針を検討する必要があります。

全国シルバー人材センター事業協会では、シルバー人材センターの会員数について、平成30年3月、「第2次会員100万人達成計画」を策定し、少子高齢化の進行、地域に広がる人手不足、政府が進める高齢者就業施策の方向性をふまえ、会員拡大計画の推進を図っています。また、安全就業徹底の取り組みを強化しています。

当シルバー人材センターにおいても、事故の発生が増加しており、中には重篤と区分される傷害事故もありました。このため安全対策が強く求められています。事務局はもとより会員一人ひとりがあらためて安全就業に対する意識を高め「事故ゼロ」を目指します。

シルバー人材センターには、会員の就労支援だけでなく高齢者福祉、健康の保持増進という役割もあり、今後、ますますその存在が重要なものとなります。

仲間を増やし、生きがいを見つけ、地域社会への貢献に寄与できるよう、会員及び役職員が一丸となって次の事項を推進します。

## I 基本方針

- 1 会員の入会促進
- 2 就業機会の確保・拡大
- 3 安全・適正就業の推進・強化
- 4 広報・周知活動の強化
- 5 会員組織活性化の推進
- 6 社会貢献活動の推進
- 7 健全な財政運営の推進

## II 事業目標

- 1 会員数 290人
- 2 契約金額 1億4千6百万円

## III 事業実施計画

- 1 会員の入会促進
  - (1) 会員による口コミ及び会員紹介カード事業の推進
  - (2) 定例（月1回）の入会説明会及び地域ごとの事業説明会の実施
  - (3) リーフレットや会報等の配布による新規入会の促進
  - (4) 高齢者活躍人材育成事業等を利用した新規入会者の発掘
  - (5) 女性会員及び団塊世代会員の入会促進
- 2 就業機会の確保・拡大
  - (1) 新規及び継続発注者等への役員等による訪問
  - (2) リーフレット等の配布による就業機会の拡大
  - (3) 連合と連携を図ったシルバー派遣事業の推進
  - (4) 高齢者活躍人材育成事業等を活用した技能職種の後継者育成・発掘
  - (5) 高齢者世帯・子育て世帯への就業開拓
  - (6) 職業紹介事業の実施体制の整備

- 3 安全・適正就業の推進・強化
  - (1) 会員の健康診断受診の奨励
  - (2) 安全看板掲示等による広報及び啓発活動の実施
  - (3) 安全委員会の開催及び定例安全パトロールの実施（毎月1回）
  - (4) 講習会及び職群班会議等による安全就業等の推進
  - (5) 連合と連携した安全・適正就業への取り組み強化
  - (6) 会員の安全意識向上への取り組み強化
  
- 4 広報・周知活動の強化
  - (1) リーフレット、会報等の配布
  - (2) ホームページや市広報及び公民館報等による PR 活動の推進
  - (3) のぼり旗による PR
  - (4) 報道機関への情報提供
  
- 5 会員組織活性化の推進
  - (1) 地区組織の強化
  - (2) 職群班及び就業会員会議の開催
  - (3) 会員互助会の活性化
  - (4) 互助会と連携した事業の開催
  
- 6 社会貢献活動の推進
  - (1) 会員互助会活動の支援
  
- 7 健全な財政運営の推進
  - (1) 受注業務の積極的開拓
  - (2) 行政及び公的機関との連携強化
  - (3) 経費節減に努め、財源の有効活用を図る